

出前講座用フォーマット

分野：「健康」

テーマ：乳がん検診の役割

職・氏名：看護学科 教授 佐々 敏

◆概要：

乳がんの罹患率が明らかに増加しているのに、なぜ乳がん検診の受診率が低いのか？
10mmぐらいの大きさの早期の乳がんならば、ほぼ完治できる疾患をなぜ放置するのか？
対象となる女性に正しい知識を楽しく理解してほしい。

◆内容：

- 1) 乳がんの罹患率が明らかに増加しているのに、なぜ乳がん検診の受診率が低いのか？
- 2) 10mmぐらいの大きさの早期の乳がんならば、ほぼ完治できる疾患をなぜ放置するのか？
- 3) 乳がんは30～50歳代女性の多忙な充実期に発症しやすい。対象となる女性に正しい知識の理解をどのように浸透させるのか？

日本人女性の多くは脂肪量が少なく、乳腺量が多いため、西欧で確立したマンモグラフィによる検診のみでは不十分である。そこで、それぞれの女性に対して、乳腺密度、脂肪量の割合に応じたオーダーメイドの乳がん検診の必要性についてわかりやすい講義を心がけます。

私が作成した小冊子を準備します。

◆出講可能な時間帯：

4月～7月(前期)・・・時期・時間帯は図書館生涯学習係までお問い合わせください。

10月～1月(後期)・・・時期・時間帯は図書館生涯学習係までお問い合わせください。

- (1) 専門分野…解剖、病理、画像
- (2) 主な担当科目…解剖生理学、病理学、病態学
- (3) 一言メッセージ… 乳腺の画像からどのように診断されるのかをわかりやすく、楽しく学べる講義を心がけている。